湯田ダムだより

発行：北上川ダム統合管理事務所／湯田ダム管理支所　　2026 年 1 月・2 月合併号　vol.131

地峡風体験

湯田ダム周辺では、山や谷に挟まれた地形の影響により、特有の強い風が吹くことがあります。この風は「地峡風（ちきょうふう）」と呼ばれ空気が狭い地形を通り抜けることで風速が増す自然現象です。

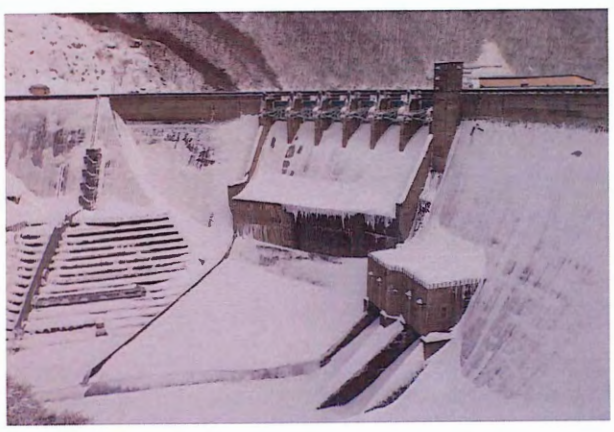


湯田ダムでは、吹き流しを手に取って風の強さや流れを体感できる「地峡風体験」を今年も開催します。

地峡風体験証明書をプレゼントします。



2 月 2 日（月）～2 月 27 日（金）
9:00～16:30　予約不要



ここだけの風の通り道をご体感ください

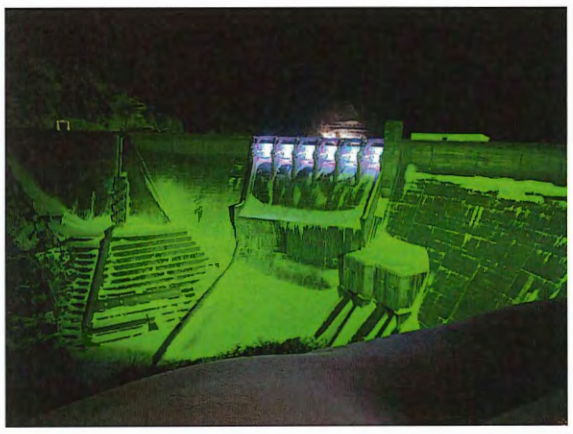
雪あかり 2026 inにしわが

2 月 7 日、雪あかり in にしわがが行われました。

雪あかりは、雪に灯された小さな光が白銀の景色にぬくもりを添える冬ならではの風景です。

静かな夜に揺れるろうそくのあかりが寒さの中にほっとする時間を届けてくれました。

湯田ダムでは、堤体のライトアップを行い、雪景色に包まれたダムが幻想的に浮かび上がりました。









ほっとゆだ 2026 北日本雪合戦大会

真冬に熱気あふれる戦いが繰り広げられる「ほっとゆだ北日本雪合戦大会」が 1 月 24 日 25 日の 2 日間、西和賀町立湯田小学校グラウンドで開催されました。

一般・ミックス・レディースの 65 チームがチームワークと戦略を駆使し、白銀のグラウンド上で熱戦を展開しました。

ほっとゆだ北日本雪合戦大会は 1994 年に初開催されました。

一般的の部は紫波町の「銭形平次」が三連覇を達成しました。



新春対談　議員と協力隊

西和賀町議会の唐仁原俊博議員と西和賀町地域おこし協力隊の田澤光司さんにお話を伺いました。



◀唐仁原氏



▲田澤氏

ダムや錦秋湖の観光利用については、着地型観光として地元事業者にもっと拓かれていくといいと議員は話します。

田澤さんは鳥獣被害対策専門員として勤務しています。

有害駆除を取り巻く課題として、ハンターの高齢化や若手の経験不足があるそうです。

今後の可能性として、狩猟体験ツアーの構想について意見がありました。

現場を知ってもらうことで、狩猟への理解を深め、人材育成や関係人口の創出につなげていけないかという考えです。

安全面や体制整備などの課題はありますが、熊やイノシシなど有害駆除の他の産業化についても、今後期待しています。



西和賀町雪景色

豪雪地帯の西和賀町で、よく見かける冬景色をご紹介します。



ロータリーがスライドして壁を崩す！



車道と歩道の間の垂直な雪の壁！

橋に積もった雪を落とします



鳥居も雪に埋もれています



景勝地・弁天

雪国の防災力

豪雪地帯・西和賀町では、高校生などによるボランティア除雪活動「スノーバスターズ」が活動し、高齢者世帯を中心に地域を支えています。

豪雪時には自衛隊による除雪支援が行われ、災害対応では予備自衛官を含む体制で後方支援が実施されます。

また、消防団は雪に埋もれた消火栓の掘り起こしを行い、火災に備えています。

日頃の備えと地域の連携が、雪国の安全を守っています。





西和賀町社会福祉協議会提供